

第6学年 社会科学習指導案

平成27年11月19日(木) 2時間目 場所 6年生教室 授業者 勝本 ゆき子

1 単元名 長く続いた戦争と人々の暮らし(本時11/11+総合4)

2 単元の指導目標

- (1) 青い目の人形について調べる中で、15年間にわたった戦争の様子に関心をもち、当時の時代背景や人々の思いを進んで調べようとしている。(関心・意欲・態度)
- (2) 調べたことを比較したり、関連づけたり総合したりして、戦争について多面的に考え、文章で表したり、話し合ったりすることができる。(思考・判断・表現)
- (3) 必要な資料を選択し、戦争にかかわる事柄や国民生活について新聞にまとめることができる。(技能【総合】)
- (4) 戦時体制の強化や敗戦によって国民が大きな被害を受けたこと、戦場になった地域に大きな損害を与えたことを理解することができる。(知識・理解)

3 単元の構想

(1) 児童の実態

子供たちはこれまでの社会科の歴史学習で、歴史的事象や歴史上の人物に興味・関心をもちながら学習に取り組んできた。学級文庫の歴史漫画にも手を伸ばし、より詳しく知ろうとする姿勢も見られる。1学期の学習では、教師による歴史紙芝居から、物語のように歴史の流れを知り、それぞれの時代の特徴についてとらえるができた。一方で、歴史的事象や資料から、多面的、総合的にとらえることを苦手としている児童が多く、一部の児童の考えに賛同してしまう場面がよく見られる。

戦争に関しては、「人が死んでしまうから戦いはよくない」という一面的なとらえ方をしている。戦争はいけないものであるという認識こそあるが、そこに至った経緯や人々の思いを知らないため、どこか他人事として受け止めており、表面的なとらえ方しかできない。

(2) 教材のとらえ

本教材では、15年間続いた戦争について調べ、戦争が広がる経緯、戦時中の国民生活の様子や思い、国内外の被害などをとらえることで、様々な立場から戦争を考えさせることができる。そこから子供たちは、戦争は二度と繰り返してはならないという思いを強めるだろう。また、今ある生活が、日本の長い歴史や先人たちの働きの上に成り立っていることを学ぶことで、これから自分たちが国家の一員として、どのように生きていくべきかを考えることもできる。さらに、終戦70年を迎えた時代の節目としても、平和の尊さや他国との関わり方について自分の考えを持たせるためにも、本教材を扱いたいと考える。

(3) 指導の重点

本単元を構成するにあたって、まず、宮崎小学校に残された青い目の人形「コルマ・デル」を扱う。始めに、学校に残された資料から人形の概要をつかみ、戦争との関わりをとらえる。戦争をより身近に感じさせるために、本校のコルマ・デルが、なぜ宮崎小学校にあるのかなど、気になることを探る。ここで、コルマ・デルと関わったことのある本校の卒業生かつ職員であった平松美代子先生のお孫さんの、磯貝敬子さんに話を聞く機会を設ける。その後、15年間続いた戦争の学習をし、歴史的事実や人々の思いを考えることで、多面的に戦争をとらえていく。また、日米友好の証として人形を贈ったギュリック氏や、戦時中に破棄・処分した日本人の思い、人形から見た戦争はどのようなものだったかを考えていくことで、教科書にはない視点でも戦争をとらえられるようにしていく。

本時では、導入で世界の動きと、人形の関わりを示した年表から、一連の流れを振り返る。次に、人形との関わりを、大きく①人形が来た②破棄・処分③守られた④現在、の四つに分け、長く続いた戦争を、人形(アメリカ側)、日本人(その中でもアメリカを敵視していた人、人形を守ろうとした人)の視点でとらえる。

さらに、青い目の人形に詳しい学芸員の石原さんから、1986年から日本に人形を贈る活動を行っているギュリック三世の存在を教えていただくことで、これからの自分はどのようにしていきたいか考えさせる。

青い目の人形や15年間続いた戦争の学習から、戦争は二度としてはいけないという思いや、世界平和への願いをさらに強め、これからは自分が後世に伝えていこうとする気持ちももてるようになることを願う。

4 単元計画

段階	時	主な学習活動	教師の指導と支援
青い目の人形についてつかむ	1	1 青い目の人形の秘密を探ろう。 ・これから、15年にわたる戦争について学習していくことをとらえる。 ・戦争と青い目の人形が関わり深いことを知る。 ・人形についての資料から、人形の概要についておおまかにとらえる。	・これからの学習に対して児童の興味・関心を高めるために、校長室に戦争と深くかかわっているものがあることを伝える。 ・児童が主体的に活動できるよう、実際に校長室へ行き、自分たちで資料を探させる。 ・人形の資料は、学習段階に応じて提示できるように、あらかじめ取捨選択して準備しておく。
	2	・見つけた資料に目を通し、青い目の人形が今日に至るまでの経緯を知る。	・人形が送られた経緯をおおまかにとらえられるように、教師が資料を選び、難しい言葉を噛み砕きながら説明する。
	3	・コルマ・デルについて知っている方（磯貝さん）の話を聞く。	・磯貝さんと、事前に話す内容を打ち合わせておく。 ・話中は教師が内容を板書し、内容把握に役立てる。
	4	・人形の学習を振り返り、ギュリックさんや人形を守った方など、人形に関わった人々の思いを考える。 ・人形の経緯から、これからの学習課題をつくる。	・自由に思いを表現できるように、イメージマップでまとめさせる。 ・15年間続いた戦争への学習につなげるために、人形の経緯をまとめた資料を提示する。
十五年続いた戦争について調べる	5	2 日本が中国で行った戦争はどのような戦争だったのだろうか。 ・満州事変、日中戦争を起こした理由や戦争の広がりについて調べる。	・中国の戦場が拡大していった様子をとらえさせるために、戦争の広がりを示した地図や年表を提示する。 ・多面的に日中戦争をとらえられるよう、それぞれの国の思いをイメージマップにまとめさせる。
	6	3 戦争が、どのようにして世界に広がったのだろうか。 ・当時の世界の様子や日本の戦争の広がりを調べる。 ・調べたことから、東南アジアの人々や日本の人々の思いを考え、話し合う。	・戦争を広げた背景を理解させるために、戦場だったアジア、太平洋の地域の資料を提示する。 ・日本以外の視点から戦争をとらえられるよう、多数の朝鮮人や中国人が厳しい労働をさせられたことにふれ、その思いを考えさせる。
	7	4 日本各地の都市や岡崎市は、空襲によってどのような被害を受けたのだろうか。 ・資料やVTRから、都市や岡崎市の空襲による被害の大きさをとらえる。	・岡崎市の空襲の被害や人々の様子をとらえられるように、岡崎空襲体験記の資料を活用する。 ・次時につなげるために、祖父母や近所の方から、戦争体験談などを聞いてくるよう促す。
	8	5 戦争中の人々が、どのような生活をしていただろうか。 ・戦時中の生活の様子を、資料から考える。 ・祖父母に聞いた戦争の話を発表し合う。 ・人形への思いや扱いの変容から、戦争が人々の心までも変えてしまうことをとらえる。 ・政府、兵隊、国民それぞれの立場での戦争への思いを考え、イメージマップにまとめる。	・資料が多いので、衣食・子供たちの生活・その他(物、こと)の3グループで分担して調べさせる。 ・戦争が自分たちの住む地域にどのような影響があったか知るために、祖父母や近所の方から聞いてきた戦争の話を交流させる。 ・戦争を身近に感じさせるために、学区の方の戦争体験談のVTRを見せる。 ・戦争が人々の心までも変えてしまったことをとらえさせるために、人形への扱いを想起させる。
	9		
	10	6 戦争はどのようにして終わったのだろうか。 ・沖縄戦、原爆投下の資料から、多くの人々が犠牲になって敗戦を迎えたことをとらえる。 ・このような形で終わった戦争を、人形はどのように見ていたのか、まとめる。	・大きな被害や多くの人々が犠牲になって、敗戦したことを理解させるために、数値による資料も提示する。 ・戦争を日本だけでとらえてしまわないように、アジアの人々の被害にもふれる。
	11	7 人形の目を通して、長く続いた戦争について考えよう。 ・年表の出来事から、人形や日本人の思いを考える。 ・石原さんから、ケイティが贈られた経緯やギュリック三世の思いを聞き、これからの自分はどうしていきたいかを考える。	・世界の動きと人形との関わりの年表を提示し、人形との関わりを、大きく①人形が来た②破棄・処分③守られた④現在、の4つに分ける。 ・日本人の行動や日本の様子と関連付けられるよう、関係資料を提示する。 ・石原さんと事前に話す内容を打ち合わせておく。
まとめ	4	8 戦争から学んだことを新聞にまとめよう。 ・教科書などから、必要な資料を集め、戦争やコルマ・デルについて新聞にまとめる。	・子供たちが強く思いを寄せたところを記事に載せられるよう、教科書や資料集だけでなく、図書資料、これまで提示してきた資料も用意する。(総合的な学習の時間も活用してまとめていく。)
	総合		

5 本時の学習指導

(1) 目標

- ・15年間続いた戦争を、青い目の人形や日本人の視点から進んで考えようとしている。(関心・意欲・態度)
- ・これまで調べたことを関連づけ、総合的に戦争をとらえ、自分の考えを表現することができる。

(思考・判断・表現)

(2) 準備

(教師) 青い目の人形 (コルマ・デル, ケイティ), 年表, 人形との関わりを示した資料, ワークシート
 (児童) 筆記用具

(3) 展開

段階	児童の活動	教師の活動
導入 (5)	<p>1 年表から世界の動きと人形との関わりをふり返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦争の前に人形はおくられた。 ・戦争のときは、破き・しょ分されてしまった。 ・でも、人形をかくして残っているものもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本や世界の動きと、人形との関わりを結び付けさせるために、年表を提示する。 ・人形との関わりは①人形が来た②破棄・処分③守られた④現在、の4つに分ける。
展開 (32)	<p>2 本時の学習課題を把握する。</p> <p style="text-align: center;">人形の目を通して、長く続いた戦争について考えよう。</p> <p>3 年表の出来事から、そのときの人形や日本人の思いを考え、ワークシートに書く。</p> <p>→①人形が来た②破棄・処分③守られた④現在の四つの出来事から、それぞれの思いを書く。 →書ける思いから書いていく。</p> <p>4 ワークシートをもとに、人形や日本人の思いを発表する。(左：人形の思い右：日本人の思い)</p> <p>① 人形が来たとき：各地で歓迎会 日本と仲良くしたい。人形をおくってくれてうれしい。 アメリカのことを好きになってほしい。アメリカはいい国だな。 しい。知ってほしい。この人形を大切にしたい。</p> <p>②破棄・処分などされていたとき：竹槍でつつく。燃やす。 竹でつきさすなんてひどい。敵国のスパイ人形だ。 竹やりでつかれて悲しい。日本敵国だと思ってこらしめてやる。 人はこわい。いやな人たちだ。敵国のものだから、こわしてやる。</p> <p>③ 守られたとき：雛人形の箱などに隠した 守ってくれてありがとう。こんな風にあつかわれてかわいそ やさしい日本人もいるんだ。うに。人形は、戦争に関係ないし、 ひどい人もいれば、いい人もいる。何の罪もない。 日本人全員がひどい訳じゃない。日本のことを思っておくってくれ た人形だから守らないと。</p> <p>④ 現在：戦後70年 色々あったけど、これからは仲良 くしてほしい。もうこんな思いし 本時のふり返りで書く。 たくない。戦争はしてほしくない。</p> <p>5 石原さんから、ケイティが贈られた経緯やギューリック三世の思いを聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦争があったけど、またおくってくれてうれしい。 ・ギューリックさんは日本を大切に思ってくれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を板書する。 ・人形が、日本人のことをどのように思っているかを考えさせる手立てとして、日本人の行動を写真やイラストで提示する。 ・日本人の行動や日本の様子と関連付けてそれぞれの思いを考えさせるために、「～をしたから」と理由を加えて記述するよう指示する。 ・机間指導では、自信を持たせるために朱書きを入れる。困っている児童には、書くところをしぼらせたり、資料を見せてそのときの日本人の行動などを想起させたりする。 ・②人形の思いが「悲しい」など他人事としてのとらえで終わっている場合は、人形に酷いことをする日本人をどう思うかと投げかける。 ・③「日本のことを思って贈られた特別な人形だから守った」など、贈った人の存在についても思いを広げられるよう、①の思いを想起させて、ただの人形ではないことを確認する。 ・④人形がこの長く続いた戦争についてどう思っているかを考えるように助言し、現在の人形の思い(願い)につなげていく。 ・活動6の、現在の自分の思いを書く際の手立てとなるよう、石原さんの話からキーワードになる言葉「忘れない、伝えていく、他国と仲良く、人形を大切にする」などを板書しておく。
整理 (8)	<p>6 本時の学習のふり返りとして、現在の日本人(自分たち)の思いをワークシートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろんな人の思いのこもった人形たちだから、わたしはこれからも大切にしていきたい。 ・ぼくは、ギューリック三世さんの活動を立派だと思っから、アメリカや他の国と仲良くしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のこととして考えられるように、「ぼく」「わたし」という言葉を使い、理由を加えて思いを記述するよう指示する。 ・困っている児童には、石原さんの話に出てきたキーワードから自分の思いに近いものを使って書くよう促す。

4 評価

- ① 青い目の人形や日本人の視点から、戦争について考えたことをワークシートに書いていたか。
(活動3のワークシートから)
- ② 長く続いた戦争の学習を通して、年表や資料をもとに人形や日本人の思いを表現したり、これからの自分はどうしていきたいかという思いをもったりすることができたか。
(活動3のワークシート、活動4の発言、活動6のふり返りから)